

概要: 近年の頻発化・激甚化する土砂災害に対応するため、人家が集中する地域や、地域の社会・経済活動を支える基礎的インフラを保全する「いのち」と「暮らし」を守る土砂災害対策を実施する。

府省庁名: 国土交通省

【事例】木曾川水系直轄砂防事業(下在砂防堰堤工群)

■ 実施主体: 国土交通省 中部地方整備局

■ 実施場所: 長野県大桑村

■ 事業概要:

木曾川水系直轄砂防事業は、昭和7年の四ツ目川災害を契機に昭和12年度より直轄砂防事業に着手。住家や重要施設が密集する大桑村野尻にて、頻発する土砂災害から命と暮らしを守るべく対策を実施。

■ 事業費: 令和3年度事業費約4.5億円[※]
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約1.0億円)

※ 令和2年度3次補正予算を含む

■ 効果:

木曾川水系直轄砂防事業において現在整備中の下在砂防堰堤工群は、その保全対象として人家141戸及び国道19号・JR中央本線等の重要交通網を含んでおり、砂防堰堤の整備を加速化することで早期に地域の安全性向上をはかるものである。

